大田原中学校区小中一貫教育だより2020

発行：大田原中学校区学校運営協議会広報部　紫塚小学校　R2，１２，２３

「大田原中学校区第３回学校運営協議会」の開催

１２月２２日（火）、大田原中学校に於いて「大田原中学校区第３回学校運営協議会」が、１５名の委員、大田原市教育委員会淺羽一裕副主幹、横山泰子指導主事、矢口晃之指導主事の参加を得て開催されました。

会の初めは、鈴木浩行学校運営協議会会長、篠山 充調整校長からあいさつがありました。お二人のあいさつの共通内容は「新型コロナウイルス感染症対応に大変な思いをした本年度であった。そのコロナ禍の中、大田原中学校の新校舎落成により生徒は喜び、希望をもつことができた。４月に入学する現６年生も期待している。」ということでした。

あいさつの後、新校舎案内、授業参観が行われました。新校舎内装は、地元、杉をはじめ木材がふんだんに使われ、やわらかさと温もりがあふれる学習空間となっています。さらに、各教室のエアコンの完備、トイレの洋式化、多目的ホールの設置など優れた教育環境となっており、そこで快適に、生き生きと学ぶ生徒の様子を参観しました。

参観後、篠山調整校長より小中一貫教育実践内容の経過報告がありました。また、小中一貫教育の評価および各学校の学校評価報告が行われました。それらの報告を受け、意見を交流しました。大田原中学校区の子供たちの学力向上を目指し「いかに読解力を育成していったらいいのか」「英語教育をどう進めていったらいいのか」が話題の中心となりました。会では、これからの時代を生きる大田原中学校区の子供たちのために、連携・協働体制を構築し活動していきます。学校運営協議会最終回は、２月２４日（水）大田原中学校で開催する予定です。